

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（もがみむらやま） 最上・村山森林計画区 （山形県）	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署最上支署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、最上・村山森林計画区内の山形県北部に所在する国有林野106,962 haを対象としている。</p> <p>当計画区は、最上地方の出羽山地、丁（ひのと）山地、奥羽山脈などに囲まれた森林の豊かな地域で、古くから木材の生産や炭焼きなどにより森林が利用されている地域である反面、栗駒国定公園をはじめ、最上川や加無山県立自然公園など原生的な自然環境も残している地域である。</p> <p>林況については、主として奥山にブナを中心とした天然林が広がり、一部の尾根筋等ではスギ等の針葉樹天然林も見られるほか、鮭川、真室川、金山川各流域の中流部から下流部、奥羽山地中央部の丘陵地と山岳部の中間地帯にかけてはスギを中心とした人工林が広く造成され、管内国有林の約4分の1に達している。</p> <p>また、鮭川上流の高坂ダム、金山川上流には神室ダムがあり、水源かん養機能や保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>更に、金山スギ等、林業生産活動が盛んな地域として知られているところでもあり、森林資源の一層の充実も期待される。</p> <p>このため、山地災害による人命・施設の被害防備、国民生活に必要な良質で安定した量の水の供給を図るため、適切な間伐の実施や長伐期施業、育成複層林施業等の推進や自然環境の保全、風致景観の維持及び保健休養の場の提供等の機能発揮が期待されている。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止や水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">227 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">11,502 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">16.9 km</td> </tr> </table> <p>総事業費 3,216,626 千円</p>			主な事業内容	森林整備	更新面積	227 ha			保育面積	11,502 ha		路網整備	開設延長	16.9 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	227 ha												
		保育面積	11,502 ha												
	路網整備	開設延長	16.9 km												
費用対効果分析	総 便 益（B）	30,443,251 千円													
	総 費 用（C）	4,057,984 千円													
	分析結果（B / C）	7.50													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業
 事業実施地区名: 最上・村山森林計画区(山形県)

事業実施主体: 東北森林管理局
 山形森林管理署最上支署
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,548,313	
	流域貯水便益	3,943,386	
	水質浄化便益	5,561,999	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,792,310	
環境保全便益	炭素固定便益	2,345,284	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	8,292	
	木材利用増進便益	124	
	木材生産確保・増進便益	2,951,223	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	183,103	
	森林管理等経費縮減便益	1,358	
	森林整備促進便益	107,859	
総便益(B)		30,443,251	
総費用(C)		4,057,984	
費用便益比		7.50	